

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 110 2018年8月

発 行：日本信頼性学会
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階
一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会 第 31 回秋季信頼性シンポジウム

わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思いますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思います。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、それに支えられた良い社会を築くことが重要であります。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

(日 時) 2018年10月29日(月) 10:00～19:00(時間は予定です)

(会 場) 一般財団法人 日本科学技術連盟 東高円寺ビル

地図→ http://www.juse.or.jp/upload/files/map_kouenji_160406a.pdf

(後 援) 一般財団法人日本科学技術連盟

(協 賛) 特定非営利活動法人安全工学会, 公益社団法人応用物理学会, 研究・イノベーション計画学会, 一般社団法人電気学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会, 一般社団法人日本開発工学会*, 一般社団法人日本機械学会, 公益団法人日本経営工学会, 一般社団法人日本シミュレーション学会, 一般社団法人日本人間工学会, 一般社団法人日本品質管理学会, 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会, IEEE Reliability Society Japan Joint Chapter

<*は予定です>

(開催内容：時間は予定です)

10:00～10:10 会長挨拶

10:10～12:00 講演発表(一般セッション)

13:00～14:30 特別講演

「信頼性学会に期待する～故障物理からシステムデザインまで～」

東京大学大学院/元日本信頼性学会会長 中村 英夫氏

14:40～18:00 講演発表(一般セッション)

シンポジウム終了後 情報交換会

*プログラム決定次第, 学会 Web ページに掲載いたします。

(シンポジウム参加費) 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000 円, 非会員 4,000 円, 学生 1,500 円

(情報交換会参加費) 2,000 円

*参加費は当日, 受付にてお支払いください。

(申込み) 日本信頼性学会ホームページよりお申し込みください。

<http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=84>

(問合せ先) 日本信頼性学会 事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟 内

電話 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842 E-mail : reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会故障物性研究会 8 月例会 (第 139 回)

(日 時) 2018 年 8 月 31 日 (金) 13 時 00 分～17 時 00 分

(場 所) 日科技連 東高円寺ビル 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

※地図 http://www.juse.or.jp/upload/files/map_koenji_data0227.pdf

(本部 (西新宿) ビルではありません。お間違えのないようお願いします)

(議 題)

13:00～13:20

1) 学会・実行委員会からの連絡事項

- ・新入会員の紹介, オブザーバの紹介
- ・秋季シンポジウムについて
- ・その他

13:20～

2) プレゼン&議論

13:20～14:10 ①X 線による TSV (through-silicon via) の不良解析事例

(ノードソン・アドバンスト・テクノロジー 大野 俊明氏)

14:10～15:00 ②(仮) リチウムイオン電池の安全性と信頼性 (会員 NITE 神山 敦氏)

15:00～15:10

(休 憩)

15:10～16:00 ③(仮) ヒューズの構造と信頼性 (会員 アドバンテスト 佐藤 博之氏)

16:00～16:50 ④会員の困り事についての意見交換

16:50～17:00

3) 今後の予定

- ・10 月例会 (第 140 回) 10 月 12 日 (金) 日科技連 大阪事務所
- ・信頼性試験研究会と合同開催
- ・その他

17:30～19:30

例会終了後、懇親会を開催します。皆様のご参加を期待しております。

8 月 31 日開催 139 回例会及び懇親会の出欠連絡は事務局宛にご連絡をお願いします。(reaj@juse.or.jp)

また、各種分科会への積極的な参加希望をお待ちしております。(hiroyuki.sato@advantest.com)

日本信頼性学会関西支部 2018 年度第 1 回講演会

次の通り、日本信頼性学会関西支部の講演会を開催します。会員の皆様は勿論、会員外の方々もお誘い合わせの上、是非多数ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

(日 時) 2018年9月13日(木) 14:00~17:00

(会 場) 大阪市北区堂島2-4-27 新藤田ビル11階 1102室(研修室)

(一般財団法人日本科学技術連盟 大阪事務所)

(講演者) 兵庫県立大学大学院 経営研究科 経営専門職専攻 教授 貝瀬 徹 氏

(題 目) R言語と機械学習を用いた故障診断の基礎と応用
～パソコンを用いた実習形式による入門～

(内 容) 各種のアイテムに関するモニタリングへの関心が高まっています。この理由として、IoTを用いることでオンラインあるいはオフラインでの故障診断の可能性が向上したこと、さらにメンテナンスを含んだ要求機能に関するサステナビリティの保証強化などが挙げられます。これらの扱いの基本は、ディペンダビリティの向上を行っていることとなりますが、市場に提供しているアイテムの全てを個別に把握することを目的としており、集団を対象にしたデータの扱いだけでなく、個別データの動的変化をビッグデータに基づいて推察することが求められています。特に、機械学習を用いることで故障診断の推察に新たな方法論が構築できると期待されており、既に運用の実績も為されています。

本講演においては、故障診断に着目し、統計解析ソフトであるR言語を用いて機械学習による方法論を解説します。R語の基本操作から始めて、統計解析の基礎、さらにシミュレーションによる故障データの作成と解析、そして機械学習の基礎を扱います。さらに、これらに基づいて故障診断における分類を多変量解析と時系列解析の2つを基盤にして解説します。

なお、当日はR言語がインストールされたPCを持参して戴くと、実習形式で講演をお聴き戴けます。

(参加費) 会員及び学生：無料 非会員：2,000円

(申込方法) 日本信頼性学会のホームページ (<http://www.reaj.jp/>) からご予約ください。

(参加人数) 35名とします。定員になり次第締め切ります。

(申込締切) 2018年9月7日(金)

(問合先) 日本信頼性学会・関西支部 事務局

〒530-0003 大阪市北区堂島2-4-27 新藤田ビル11階

一般財団法人 日本科学技術連盟 大阪事務所 内

TEL06-6341-4627 Fax06-6341-4615 E-mail : reaj-kansai@juse.or.jp

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

Lcc (Life cycle costing) 研究会はLccに興味・関心があるという共通項を持ちつつ、信頼性工学、会計学など異なる専門分野やバックグラウンドを持つ10名前後の研究会メンバーで活動を行っています。年に5回ほど、原則として金曜日の夜に東高円寺もしくは西新宿の日科技連ビルに集まり研究会を開催しております。

2017年度からは、Lccの研究を進めるうえで有用と考えられるIEC 60300-3-12 (Dependability management - Part 3-12: Application guide - Integrated logistic support) の検討を開始し、研究成果を信頼性シンポジウム等で発表していく予定です。

私たちと一緒にLccの研究を進めてくださる仲間を募集しています。現段階で日本信頼性学会の会員ではなくても研究会にご参加いただくことは可能です。Lcc研究会に少しでもご関心がある方は、まずは

下記のメールアドレスにご連絡をいただき、一度研究会の様子をご見学いただければ幸いです。ご連絡をお待ちしています。

- (日 時) 2018年9月21日(金) 18:00~20:00
2018年12月7日(金) 18:00~20:00
- (場 所) 日科技連 東高円寺ビル 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1
*地図 http://www.juse.or.jp/upload/files/map_koenji_data0227.pdf
- (検討内容) IEC 60300-3-12 (Dependability management - Part 3-12: Application guide - Integrated logistic support) について、特にLife Cycle Costingとの関連を意識しながら検討していきます。
- (連絡先) 研究会主査 中島洋行 - hiroyuki.nakajima@meisei-u.ac.jp
詳細は、http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45 よりご参照ください。

PM 学会 2018 年度秋季研究発表大会

PM 学会では、以下の日程で「秋季研究発表大会」を京都市で開催いたします。
プロジェクトマネジメントは、工学系、情報系のみならず、経営学、心理学、社会学、法学、安全科学など広く人文科学、社会科学の研究フィールドと深く関わる学際的学問領域として、現代社会の発展に寄与しています。広範な分野の多くの方々にご参加、ご発表頂くことで、この分野の発展を促進することができます。この機会に是非発表をお勧めいたします。

- (日 時) 2018年8月30日(木) ~31日(金)
- (主 催) プロジェクトマネジメント学会
- (協 賛) 日本信頼性学会 他
- (会 場) 同志社大学 今出川キャンパス 良心館 (京都市上京区今出川通烏丸東入)
- (問合先) PM 学会行事委員会 / 論文・発表等に関するお問合せ : taikai@spm-hq.jp
詳細は、<https://www.spm-hq.jp/committee/spm2018autumn/> よりご参照ください。

日本 OR 学会 2018 年秋季シンポジウム (第 79 回)

- (日 時) 2018年9月5日(水)
- (主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
- (協 賛) 日本信頼性学会 他
- (会 場) 名古屋市立大学 川澄キャンパス病院ホール
- (テーマ) 「社会に浸透・拡大する AI と OR」
- (問合先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail : oota@orsj.or.jp
詳細は、<http://www.orsj.or.jp/~nc2018f/index.php/symposium/> よりご参照ください。

日本 OR 学会 2018 年秋季研究発表会

- (日 時) 2018 年 9 月 6 日 (木) ～7 日 (金)
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 名古屋市立大学 山の畑キャンパス
(テーマ) 「スマートモビリティ社会と OR」
(問合先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail : oota@orsj.or.jp
詳細は、 <http://www.orsj.or.jp/activity/anmeet.html#a> よりご参照ください。

ソフトウェアテストシンポジウム in 北海道 (JaSST' 18 Hokkaido)

- (日 時) 2018 年 9 月 7 日 (金) 9 : 30～ (情報交換会 18 : 10～19 : 00)
(主 催) ソフトウェアテスト技術振興協会／ソフトウェアテストシンポジウム北海道 実行委員会
(後 援) 情報処理推進機構／LOCAL
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 札幌市教育文化会館 (札幌市中央区北 1 条西 13 丁目)
(参加費) 4,000 円 参加人数 80 名程度
(問合先) 特定非営利活動法人ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER) 事務局
〒105-0014 東京都港区芝 2-29-10 ユニゾ芝二丁目ビル 7F
TEL03-5444-7601 FAX03-5444-8095 E-mail : jasst@event-rangers.jp
詳細は、 <http://www.jasst.jp/symposium/jasst18hokkaido.html> よりご参照ください。

ソフトウェアテストシンポジウム in 東京 (JaSST' 19 Tokyo) Call for papers ～ 論文募集 ～

- (日 時) 2019 年 3 月 27 日 (水) ～28 日 (木)
(主 催) ソフトウェアテスト技術振興協会／ソフトウェアテストシンポジウム北海道 実行委員会
(後 援) 情報処理推進機構／LOCAL
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 日本大学理工学部 駿河台校舎 1 号館 (千代田区)
(日 程) 2018 年 8 月下旬 投稿受付開始
2018 年 10 月 2 日 投稿締切
2018 年 11 月上旬 採否通知
2018 年 11 月中旬 Web 掲載用概要提出締切
2018 年 1 月 25 日 カメラレディ原稿締切
(投稿先) 投稿受付開始後、<http://jasst.jp> 内の「JaSST' 19 Tokyo」「論文募集要項」のページからご投稿ください。
(問合先) 特定非営利活動法人ソフトウェアテスト技術振興協会 (ASTER) 事務局
〒105-0014 東京都港区芝 2-29-10 ユニゾ芝二丁目ビル 7F

TEL03-5444-7601 FAX03-5444-8095 E-mail : jasst@event-rangers.jp

対象分野, 募集内容等の詳細は, <http://www.jasst.jp/symposium/jasst19tokyo.html> よりご参照ください.

第 10 回知識構造化シンポジウム

～SSM による未然防止活動における様々な工夫と発展～

不具合情報・技術情報から知識を一般化・体系化し, 再発防止・未然防止に有効活用する SSM による構造化知識マネジメントは, 多くの業種・企業で取り組まれています. 具体的には, 過去不具合の知識運用に留まらず, 設計・試験など様々な業務に役立つノウハウの活用やデザインレビュー・FMEA 実施結果の再利用など, 未然防止活動を組織に根付かせるための工夫も進められています. また, 昨今では AI/IoT とも連携した発展的な活動も期待されています.

第 10 回目を迎える今回のシンポジウムでは, SSM 活動を継続的に実践している 2 社の事例と, AI/IoT と SSM を組み合わせた新しい取り組みについてご紹介します. 各社の講演を通じて, 導入中・導入検討中の皆様に役立つヒントをご提供します.

*SSM (Stress-Strength Model : ストレス-ストレングスモデル) とは, トラブルの経験・ノウハウを広くトラブル未然防止に活用できるように, 知識を構造的に表現するモデルです.

(日 時) 2018 年 9 月 7 日 (金) 13:30～17:00

(主 催) 日本科学技術連盟

(後 援) 日本信頼性学会 他

(会 場) 東京証券会館ホール (中央区日本橋茅場町 1-5-8)

(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 TQM チーム SSM-S 担当

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

TEL03-5378-1213 FAX03-5378-9842 E-mail : tqmsemi@juse.or.jp

詳細は, <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms> よりご参照ください.

ソフトウェア品質シンポジウム 2018

ソフトウェア品質シンポジウムのコンセプトは「聴く, 考える, 話す」です. ソフトウェア開発に待ち受ける様々な難関を一つひとつ乗り越えて, 更にもう一步, 先に進んで行きましょう!

(日 時) 2018 年 9 月 12 日 (水) ～14 日 (金)

(主 催) 日本科学技術連盟

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 東洋大学 白山キャンパス (文京区白山 5-28-20)

(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 ソフトウェア品質シンポジウム担当

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

TEL03-5378-9813 FAX03-5378-9842 E-mail : sqip-sympo@juse.or.jp

詳細は, <https://www.juse.jp/sqip/symposium/kaisaigaiyou/> よりご参照ください.

国際規格に基づく機械安全設計のポイントー機械、電気及び機能安全

リスクアセスメントを実施し、リスクを受け入れ可能なレベルに低減させた機械を設計・製造することは、機械メーカーの責務である。このために、機械の安全要求標準化が ISO,IEC を中心に進められており、わが国でも日本工業規格(JIS) として発行されている。

機械メーカーとしては、仕向け地で使用されている機械安全の標準に従って機械を設計しなければならないが、「国際標準の理解・解釈に時間を要する。仕向け地で受け入れられるのか心配である。」などの声が、現場から寄せられている。

当講習会では、国際標準を用いた評価実務の第一人者が、機械の安全設計を行う際に問題となる点を、事例を交えて解説する。

(日 時) 2018 年 9 月 14 日 (金) 10:00~17:00

(主 催) 日本機械学会 産業・化学機械と安全部門

(共 催) 日本電機工業会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 日本電機工業会 会議室 61-63 (千代田区一番町 17 番地 4 電機工業会館)

(申込先) https://www2.jsme.or.jp/fw/index.php?action=kousyu_index&gyojino=18-102 からお申込み下さい。

(問合せ先) 一般社団法人日本機械学会 産業・化学機械と安全部門

担当職員 佐藤 電話 (03) 5360-3505

詳細は、 <https://www.jsme.or.jp/event/2018-31571/> よりご参照ください。

第 40 回安全工学セミナー (化学品を扱うプロセスの災害防止)

安全工学セミナーを下記のように実施いたします。各分野の第一人者による安全工学の基本から応用まで一貫して行われる講義で、大変好評をいただいております。今年度もより一層、内容を充実させております。ぜひ、奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

(日 時) 物質危険性講座 2018 年 9 月 18 日 (火) ~19 日 (水)

危険現象講座 2018 年 10 月 16 日 (火) ~17 日 (水)

プラント安全講座 2018 年 11 月 15 日 (木) ~16 日 (金)

安全マネジメント講座 2019 年 1 月 17 日 (木) ~18 日 (金)

(主 催) 安全工学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 化学会館 (東京都千代田区神田駿河台 1-5)

(募集人員) 各講座 30 名

(問合せ先) 特定非営利活動法人安全工学会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2 アロマビル 6F

TEL03-6206-2840 FAX03-6206-2848 E-mail : jsse-2004@nifty.com

詳細は、 <http://www.jsse.or.jp> よりご参照ください

信頼性セミナー初級コース

- (日 時) 2018年9月19日(水)
(主 催) 日本科学技術連盟
(後 援) 日本信頼性学会 他
(会 場) 日本科学技術連盟東高円寺ビル
(対 象) 信頼性技術および信頼性管理に関して興味をお持ちの方、その重要性を再認識されたい方、設計・開発、品質保証などの各部門のマネージャー、設計開発部門の第一人者、教育担当部門の方
(参加費) 5,400円(税込)
(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 品質経営センター 研修運営グループ 信頼性セミナー担当
TEL03-5378-9850 FAX03-5378-9842 E-mail: re-group@juse.or.jp
詳細は、<http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/23060> よりご参照ください

センサ・アクチュエータ・マイクロナノ／ウィーク 2018 次世代センサ総合シンポジウム “ニーズとシーズの出会い”

センサ・アクチュエータ・マイクロナノの普及啓蒙を目的とし、3日間で5セッション、「生体ガスセンシングによる先端医療診断と身体状態モニタリング」「自動車用センサ」「人工知能(機械学習)とセンサ応用」「社会実装進むインフラモニタリング新技術」「IoT/センサシステムを支える最新の基盤技術」をテーマに開催する。

- (日 時) 2018年9月27日(水)～28日(金)
(主 催) 一般社団法人次世代センサ協議会
(協 力) フジサンケイ ビジネスアイ
(協 賛) 日本信頼性学会 他 26 団体
(会 場) 東京ビックサイト 会議棟 6F 610 号室(東京都江東区有明 3-11-1)
(プログラム)

- Session.1 「生体ガスセンシングによる先端医療診断と身体状態モニタリング」
Session.2 「自動車用センサ –自動運転とセンサー」
Session.3 「人工知能(機械学習)とセンサ応用 ～理解を深めて新しい応用を拓けよう～」
Session.4 「社会実装進むインフラモニタリング新技術」
Session.5 「IoT/センサシステムを支える最新の基盤技術」
各セッション3名の講師にご講演いただきます。

- (参加費) 1セッションにつき(税・資料代込)
次世代センサ協議会会員 8,500円、次世代センサ協議会研究会員 11,000円、
協賛団体会員 11,000円、一般 13,000円、学生 3,500円
(5セッション全てお申し込みの場合は割引あり)
(申込先) 一般社団法人次世代センサ協議会 事務局
TEL.03-5294-2333 FAX.03-5294-0909 E-mail: office@jisedaisensor.org
プログラムおよび講演内容詳細は、<http://www.jisedaisensor.org/> よりご参照ください。
(問合先) 公益社団法人日本材料学会

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1-101

TEL 075-761-5321 FAX075-651-5325 E-mail : jimmu@jsms.jp

詳細は、 http://www.jsms.jp/index_4.html よりご参照ください。

第9回横幹コンファレンス「ひらけ、超スマート社会！」

第9回横幹連合コンファレンスは、画期的に変化しつつある東京調布にある電気通信大学で、10月の始めに、開催致します。新宿から京王線の特急で15分の非常に利便性のよい会場ですので、是非ご参加ください。電気通信大学は1918年 無線電信講習所として創設され、今年2018年に100周年を向かえ、「ひらけ INNOVATION」をテーマに、開け、拓け、啓け等々の意味を込めて、コンファレンス等100周年イベントを重ねております。様々な学術分野の知の統合や文理融合を目指す横幹連合のコンファレンスを電気通信大学で行うことにより、より相乗効果が起きますように、今回の横幹連合のコンファレンステーマは、〈ひらけ 超スマート社会〉としました。現在の重要な課題であります未来の超スマート社会について、様々な分野の皆様で、それらを融合した多くの有意義な議論が展開できればと思います。

本コンファレンスでは、昨年の試行の成功を受け、ポスターセッションも引き続き行います。従来の講演型のセッションでのディスカッションだけではなく、異分野の研究者とのより高密度なディスカッションができる機会を、多くの大学院生にも発表体験して頂きたいと思っております。

皆様のご講演・ポスター発表のお申し込みとコンファレンスへのご参加を、心よりお待ちしております。

実行委員長 椿美智子（電気通信大学）

（日 時） 2018年10月6日（土）～7日（日）

（主 催） 横幹連合

（共 催） 横幹技術協議会

（会 場） 電気通信大学（調布市）

（問合先） 第9回横幹連合コンファレンス事務局 E-mail: conf2018@trafst.jp

詳細は、 <http://www.trafst.jp/conf2018/> よりご参照ください。

第4回材料WEEK

日本材料学会は材料に関わる広範囲の分野の研究者・技術者が参加する学会で、創設以来科学技術の根幹である材料分野において活発な活動を行ってきました。科学技術の発展には、知識・知恵の体系（学術）に関する情報交換が必須であり、学会はその学術交流の基盤インフラです。本会はこれまで情報交換の場として、5月の学術講演会ならびに部門委員会が企画するシンポジウム、講習会などを積極的に提供するとともに、日本学術会議材料工学委員会との連携のもと開催されてきた材料工学連合講演会の主担当をしてまいりました。材料工学連合講演会は複数の学協会の橋渡しをする貴重な交流の場でありましたが、2014年開催を最後に終了となり、本会は、材料工学連合講演会の趣旨を引き継ぎ、新たに「材料WEEK」として開催するに至りました。材料WEEKは、ワークショップの開催とともに、学生の研究活動の一助としての若手学生研究発表会、本会部門委員会の企画によるシンポジウム、講習会ならびに公開部門委員会を一堂に会して行う企画です。材料学に関する幅広い知識の取得と他分野との交流の場として積極的なご参加を御願いたします。

(日 時) 2018年10月16日(火)～10月19日(金)
(主 催) 日本材料学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 京都テルサ(京都市南区東九条下殿田70)
(問合先) 公益社団法人日本材料学会
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1-101
TEL 075-761-5321 FAX075-651-5325 E-mail : jimmu@jsms.jp
詳細は、http://www.jsms.jp/index_4.html よりご参照ください。

経営情報学会 2018年秋季全国研究発表大会 「AI時代における高付加価値化」

現在の人口減少・少子高齢化による労働人口減少社会では、AIをはじめとするITシステムが、業務効率化を目的にビジネス領域に導入されています。政府が実現を目指す働き方改革や若年層の格差拡大問題等の解決には、ビジネスの創出や製品・サービスの高付加価値化が求められ、ITがそのビジネス領域を補う重要な役割になると考えます。

そこで、これからのビジネスを担うのは、サービスデザイン等の顧客視点に立った新たな価値の創出や、AIやIoTの活用によるエコシステムの構築であろうとの思いを込めて、本大会テーマを「AI時代における高付加価値化」とさせて頂きました。皆さまの参加を心からお待ち申し上げます。

(日 時) 2018年10月20日(土)～21日(日)
(主 催) 経営情報学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 近畿大学 東大阪キャンパス
(問合先) 一般社団法人経営情報学会 大会実行委員会
E-mail : jasmin2018@googlegroups.com
詳細は、http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2018_fall/ よりご参照ください。

第35回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムは、センサ・マイクロマシン技術のさらなる発展を目標に、学・協会を超えた研究グループ間の情報交換、研究成果およびアイデアの討議の場として開催される、当該分野における日本最大のシンポジウムです。

会期中は、前回までの日本機械学会マイクロ・ナノ工学部門主催の「マイクロ・ナノ工学シンポジウム」、応用物理学会集積化MEMS技術研究会主催の「集積化MEMSシンポジウム」、そして今年新たに、化学とマイクロ・ナノシステム学会主催の研究会が加わって、同時開催されます。またエレクトロニクス実装学会との連携セッションも開催されます。本シンポジウムに参加登録すると、これらの同時開催シンポジウム・セッションにも参加することができます。

昨年に引き続き、一般投稿を基本的にポスター発表のみとすることで、密な議論の場を提供いたします。また、魅力的な基調講演に加え、テクニカルツアー、技術展示、研究者交流企画なども予定しております。皆様からの積極的な投稿とご参加をお待ちしております。

(日 時) 2018年10月30日(火)～11月1日(木)
(主 催) 電気学会 センサ・マイクロマシン部門
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 札幌市民交流プラザ(札幌市中央区北1条西1丁目)
(問合先) 第35回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム事務局
株式会社セミコンダクタポータル
TEL 03-5733-4971 E-mail: sensorsympo_2018@semiconportal.com
詳細は、 http://www.sensorsymposium.org/index_j.html よりご参照ください。

第9回マイクロ・ナノ工学シンポジウム

マイクロ・ナノ工学部門では、マイクロ・ナノメートルの領域における工学・理学に機械工学がさらなる主体的貢献を行うことを目的とし、部門大会として「第9回マイクロ・ナノ工学シンポジウム」を開催いたします。第8回マイクロ・ナノ工学シンポジウムでは140件以上の発表があり、同時開催となる電気学会センサ・マイクロマシン部門主催第34回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム、応用物理学会集積化MEMS技術研究会主催第9回「集積化MEMSシンポジウム」、ならびにエレクトロニクス実装学会および電子情報通信学会との連携セッションと併せ、総計460件の発表、777名の研究者・技術者が参加しました。マイクロ・ナノ工学シンポジウムに参加登録されますと、これらの同時開催シンポジウム、セッションの講演、行事に参加できます。本年度から、化学とマイクロ・ナノシステム学会主催 第38回研究会が加わり、さらなる分野の活性化が期待されます。昨年度から一般講演を全てポスター発表としました。これにより、マイクロ・ナノ工学部門はもちろん、他学会、他分野の研究者・技術者とのより一層密な交流ができる場となっております。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

(日 時) 2018年10月30日(火)～11月1日(木)
(主 催) 電気学会 センサ・マイクロマシン部門
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 札幌市民交流プラザ(札幌市中央区北1条西1丁目)
(問合先) 第9回マイクロ・ナノ工学シンポジウム実行委員会
TEL 03-5733-4971 E-mail: sensorsympo_2018@semiconportal.com
詳細は、 <http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2018/> よりご参照ください。

産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会 2018 秋

—安全・安心な産業・化学機械システムの構築—

建設機械、工作機械、農業・食品機械、印刷機械、エネルギープロセスをはじめとする各種産業機械、また化学装置、化学プラント等、化学品製造に関わる化学機械のそれぞれの安全に関連する分野で活躍する技術者・研究者の交流を目的とする部門講演会を開催いたします。研究報告に関する講演だけでなく、日頃取り組んでいる技術的問題の提起なども含め、多くの皆様の御講演および御参加をお待ち申し上げます。「日本機械学会若手優秀講演フェロー賞」対象講演会となります。

(日 時) 2018年11月16日(金)

(主 催) 日本機械学会 産業・化学機械と安全部門
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 日本機械学会 第1会議室 (新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階)
(募集分野) 一般セッション：産業・化学機械のイノベーションにおける課題と対策
OS：産業・化学機械等の安全問題の将来展望
(講演申込締切) 2018年10月9日(火)
(講演原稿締切) 2018年10月24日(水)
*日本信頼性学会正会員・学生会員の方は、発表・聴講とも可能です。
(問合先) 一般社団法人日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 (担当職員：佐藤氏)
〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
E-mail：sato@jsme.or.jp
詳細は、 <https://www.jsme.or.jp/icm/lecture.html#section> をご参照ください。

第38回ナノテストニングシンポジウム (NANOTS 2018)

ナノテストニングシンポジウム (旧名称 LSI テストニングシンポジウム) は、ナノスケールの構造を持った材料・デバイスのテストニング技術に関し、設計、プロセス、テストおよび設計・製造・テスト装置分野の研究者が一堂に会し議論する場を提供することを目的として、毎年開催されています。

(日 時) 2018年11月19日(月)～20日(火)
(主 催) ナノテストニング学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 国際ファッションセンター KFC Hall (墨田区横網1-6-1)
(問合先) ナノテストニング学会
〒565-0871 吹田市山田丘1-5 大阪大学大学院情報科学研究科 情報システム工学専攻
中前研究室内 TEL06-6879-7813 FAX06-6879-7812 E-mail：NANOTS@ist.osaka-u.ac.jp
詳細は、 <http://www-nanots.ist.osaka-u.ac.jp/> をご参照ください。

12th International Conference on Project Management 2018 (ProMAC 2018)

PM学会では、「ProMAC2018」の名称で第12回PM国際会議をバンコクで開催いたします。最高のロケーションで、新たな国際交流の場をご提供いたします。

PM関連技術は、FMES会員学会の皆様のフィールドと深く関わっております。皆様が培った知識やノウハウはPMにとって大いに役立つものと考えております。

この機会に国際会議で発表されたことのない方は勿論、他国のエンジニアらと交流したい方、自身の経験を国際会議の場で発表されたい方など国際会議にご興味のある方は是非発表をお勧めいたします。

(日 時) 2018年11月27日(火)～12月1日(土)
(会 場) The Landmark Bangkok Hotel, Bangkok, Thailand
(問合先) PM学会行事委員会／論文・発表等に関するお問合せ：promac@spm-hq.jp
詳細は、 <http://www.spm-hq.jp/promac/2018/> をご参照ください。

第 51 回安全工学研究発表会

(日 時) 2018 年 11 月 29 日 (木) ～30 日 (金)
(主 催) 安全工学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 石川地場産業振興センター (石川県金沢市鞍月 2-1)
(問合せ先) 特定非営利活動法人安全工学会
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2 アロマビル 6F
TEL03-6206-2840 E-mail : jsse-2004@nifty.com
詳細は、 <http://www.jsse.or.jp> をご参照ください。

第 5 回初心者にもわかる信頼性工学入門セミナー (演習付き)

近年、材料・構造物の強度や安全性、環境適合性に対する社会的要望が一段と高まっています。単に力学的な強度だけでなく、材料・構造物の幅広い機能に対する信頼性確保のための研究・技術開発が、活発に展開されています。また、材料・構造物に対する負荷については不規則な場合も多く、製品の信頼性保証という品質経営にも直結するため、信頼性工学の果たすべき役割は一段と重要になっています。応用範囲の幅が広く対象要素が多岐にわたる信頼性工学の分野においては、狭い視点に偏ることなく常に広い視野をもつための多様性が求められています。本学会信頼性工学部門委員会では、昭和 52 年以來、「安全性・信頼性」を共通のバックボーンとして多様な分野の研究者・技術者が一堂に会し、研究討論などの学術交流や情報交換を行う場を提供してきました。

本セミナーでは、確率分布などの信頼性工学の基礎数理と母数の推定と仮説の検定、製品寿命を評価する信頼性手法の中でよく使われるワイブル確率紙の原理とその解析方法、および疲労試験で必ず利用される S-N 曲線回帰法を学びます。データを分析するマニュアル的な手順を示すだけでなく、その理論や例題を含めて基礎から分かり易く説明します。また理解を深めるための演習も用意されていますので、基本的なデータ分析と信頼性手法を修得できます。なお、当セミナー受講者には「修了証」を発行します。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

ナノテスティングシンポジウム (旧名称 LSI テスティングシンポジウム) は、ナノスケールの構造を持った材料・デバイスのテスティング技術に関し、設計、プロセス、テストおよび設計・製造・テスト装置分野の研究者が一堂に会し議論する場を提供することを目的として、毎年開催されています。

(日 時) 2018 年 12 月 14 日 (金) 10 : 00～16 : 20
(主 催) 日本材料学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 熊本大学 工学部研究棟 I 3 階 309 講義室 (熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1)
(参加費) 会員、協賛学協会会員 : 4,000 円 (学生 : 2,000 円), 非会員 8,000 円 (学生 : 3,000 円)
*参加費は当日会場にて申し受けます。当日入会可。テキスト代を含む
(申込方法) <http://sinrai.jsms.jp/> よりお申込みください。
(問合せ先) 公益社団法人日本材料学会
〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町 1 番地 101
TEL075-761-5321 FAX075-761-5325 E-mail : jimmu@jsms.jp
詳細は、 <http://sinrai.jsms.jp/> をご参照ください。

日本材料学会 部門・支部合同講演会 —九州支部第5回学術講演会・総会／第31回信頼性シンポジウム—

九州支部では、平成26年度に鹿児島大学で支部として第1回目の学術講演会を開催しました。その際、支部間の連携を強化するために、講演会の併設行事として中国支部との合同研究会（「中国・九州支部合同研究会」と命名）が実施されました。また、平成27年9月に第2回中国・九州支部合同研究会が信頼性工学部門委員会の第140回定例委員会と合同で開催されました。その際、九州支部と信頼性工学部門との合同企画講演会を将来開催することが提案されました。その経緯と関連して、九州支部の学術講演会では、第1回から平成29年度開催の第4回の学術講演会まで、中国・九州支部合同研究会の講演が併設して実施されてきました。合同研究会の内容は材料信頼性に深く係わるものであり、会員相互の材料信頼性に関する研究交流を継続する動機にもなっています。このような背景から、平成30年度において九州支部と信頼性工学部門の合同講演会を企画しました。本合同講演会の行事を進めるにあたっては、中国支部および衝撃部門委員会も運営に参画しています。多数の皆様のご講演応募をお待ちしております。

(日 時) 2018年12月15日(土)～16日(日)

(主 催) 日本材料学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 熊本大学 工学部研究棟 I (熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1)

(講演申込締切) 9月14日(金)

(講演原稿締切) 10月26日(金)

(参加登録料) 会員, 協賛学協会会員 5,000円, 非会員 10,000円,

学生会員 1,000円, 学生非会員 3,000円 (講演論文集 1冊含む)

(懇親会) 12月15日(土) 会費 4,000円, 学生 2,000円

(申込方法) <http://www.jsms.jp/> より, または, 郵便・FAXによりお申込みください。

(問合先) 公益社団法人日本材料学会

〒606-8301 京都市左京区吉田泉殿町1番地101

TEL075-761-5321 FAX075-761-5325 E-mail: jimu@jsms.jp

詳細は, <http://sinrai.jsms.jp/> をご参照ください。

日本学術会議ニュース

公開シンポジウム「西日本豪雨災害の緊急報告会」

- ・日時: 平成30年9月10日(月) 13時～17時30分
- ・場所: 日本学術会議講堂
- ・主催: 日本学術会議防災減災学術連携委員会, 土木工学・建築学委員会, 防災学術連携体
- ・参加費: 無料 (300名)
- ・お申込み: <https://ws.formzu.net/fgen/S14170529/> からお願いいたします。

公開シンポジウム「あなたが知りたい防災科学の最前線—首都直下地震に備える—」

(第6回防災学術連携シンポジウム, 防災推進国民大会2018のセッションとして開催)

- ・日時: 平成30年10月13日(土) 16時30分～19時

- ・場所：東京ビックサイト会議棟 7F 国際会議場（定員：1000名）
- ・主催：日本学術会議防災減災学術連携委員会，防災学術連携体
- ・参加費：無料（多くの市民の皆様や防災に関わる方々のご参加をお待ちしています。）
- ・申込み：https://ws.formzu.net/fgen/S52435646/ からお願いいたします。（当日の直接参加も可）
- ・問い合わせ先：防災減災学術連携委員会 幹事：田村和夫氏（tamkaz.kento@ninus.ocn.ne.jp）

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
PM 学会 2018 年度秋季研究発表大会	同志社大学 今出川キャンパス／京都市	2018/8/30-31		https://www.spm-hq.jp/committee/spm2018autumn/
<u>故障物性研究会</u>	日科技連 東高円寺	2018/8/31		http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72
日本 OR 学会 2018 年秋季シンポジウム（第 79 回）	名古屋市立大学川澄キャンパス	2018/9/5		http://www.orsj.or.jp/activity/symposium.html#a
日本 OR 学会 2018 年秋季研究発表会	名古屋市立大学山の畑キャンパス	2018/9/6-7		http://www.orsj.or.jp/activity/anmeet.html#a
第 10 回知識構造化シンポジウム～SSM による未然防止活動における様々な工夫と発展～	東京証券会館ホール 中央区	2018/9/7		http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms
ソフトウェアテストシンポジウム in 北海道 (JaSST'18 Hokkaido)	札幌市教育文化会館 札幌市中央区	2018/9/7		http://www.jasst.jp/symposium/jasst18hokkaido.html
ソフトウェアテストシンポジウム in 東京 (JaSST'19 Tokyo)	日本大学 駿河台 千代田区	2019/3/27-28	2018/10/2	http://www.jasst.jp/symposium/jasst19tokyo.html
2018 年度統計関連学会連合大会	中央大学後楽園キャンパス 文京区春日	2018/9/9-13		http://www.jfssa.jp/wp-content/uploads/2018_1/01/2018announce1_180110.pdf
日科技連ソフトウェア品質シンポジウム 2018	東洋大学 文京区白山	2018/9/12-14		https://www.juse.jp/sqip/symposium/kaisaigaiyou/
関西支部 2018 年第 1 回講演会	日科技連 大阪事務所	2018/9/13		http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=97
国際規格に基づく機械安全設計のポイント—機械，電気及び機能安全	日本電機工業会会議室 千代田区	2018/9/14		https://www.jsme.or.jp/event/2018-31571/
第 40 回安全工学セミナー—化学品を扱うプロセスの災害防止	化学会館 千代田区神田駿河台	2018/9/18-19 2018/10/16-17 2018/11/15-16, 2019/1/17-18		http://www.jsse.or.jp/
日科技連 信頼性セミナー初級コース	日科技連 東高円寺	2018/9/19		http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/99/23060
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連 東高円寺	2018/9/21		http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45
センサ・アクチュエータ・マイクロナノ／ウィーク 2018 次世代センサ総合シンポジウム	東京ビックサイト 江東区	2018/9/27-28		http://www.jsms.jp/index_4.html
第 9 回横幹コンファレンス「ひらけ，超スマート社会！」	電気通信大学 調布市	2018/10/6-7		http://www.trafst.jp/conf2018/
第 4 回材料 WEEK	京都テルサ 京都市南区	2018/10/16-19		http://www.jsms.jp/index_4.html
経営情報学会 2018 年秋季全国研究発表大会「AI 時代における高付加価値化」	近畿大学 東大阪キャンパス	2018/10/20-21		http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2018fall/
第 31 回秋季信頼性シンポジウム	日科技連 東高円寺	2018/10/29		http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=96

第 35 回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム	札幌市民交流プラザ 札幌市中央区	2018/10/30-11/1		http://www.sensorsymposium.org/index_j.html
第 9 回マイクロ・ナノ工学シンポジウム	札幌市民交流プラザ 札幌市中央区	2018/10/30-11/1		http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2018/
産業・化学機械と安全部門 研究発表講演会 2018 秋－安全・安心な産業・化学機械システムの構築－	日本機械学会 新宿区信濃町	2018/11/16	2018/10/9	https://www.jsme.or.jp/icm/lecture.html#section
第 38 回ナノテストングシンポジウム (NANOTES 2018)	国際ファッションセンターKFC Hall／墨田区	2018/11/19-20		http://www-nanots.ist.osaka-u.ac.jp/
12th International Conference on Project Management 2018 (ProMAC2018)	バンコク	2018/11/27-12/1	2018/7/17	http://www.spm-hq.jp/promac/2018/
第 107 回 日科技連 品質管理シンポジウム	大磯プリンスホテル 大磯	2018/11/29-12/1		https://www.juse.jp/qcs/
第 51 回安全工学研究発表会	石川県地場産業振興センター／金沢市	2018/11/29-30		http://www.jsse.or.jp/
第 5 回初心者にもわかる信頼性工学入門セミナー (演習付き)	熊本大学 熊本市	2018/12/14		http://sinrai.jsms.jp/
部門・支部合同講演会—九州支部第 5 回学術講演会・総会／第 31 回信頼性シンポジウム	熊本大学 熊本市	2018/12/15-16		http://sinrai.jsms.jp/
Advance in Reliability (仮題)	国立精華大学 新竹市, 台湾	2018/12/15-16		